

マーケットの動き（2020年3月23日～3月27日）

先週の国内債券市場は、金利は低下しました（債券価格は上昇）。各国の財政政策や金融政策を受けて、株価が大幅に上昇したことから、債券の利益確定売りの圧力は強まったものの債券価格は上昇して終わりました。クレジット市場は、国債利回りの低下や、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、スプレッド拡大が続きましたが、需給面では買いが優勢となりました。

投資環境見通し（2020年3月）

国内長期金利はマイナス圏を中心に推移

国内景気については、底打ち期待が一部にあったものの、新型コロナウイルス感染拡大の経済活動への影響が懸念されています。日銀総裁はこの状況下で、適切な金融市場調節と資産買い入れを行うとの談話を発表しました。国内長期金利は当面、マイナス圏を中心に推移するとみています。

| | 3月27日 | 変動幅（騰落率） | | | |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|-------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| 10年国債利回り（日本、%） （変動幅） | 0.01 | ▲0.07 | 0.13 | 0.26 | 0.08 |
| NOMURA-BPI総合 （騰落率） | 388.48 | 0.36% | ▲1.12% | ▲1.68% | 0.08% |

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

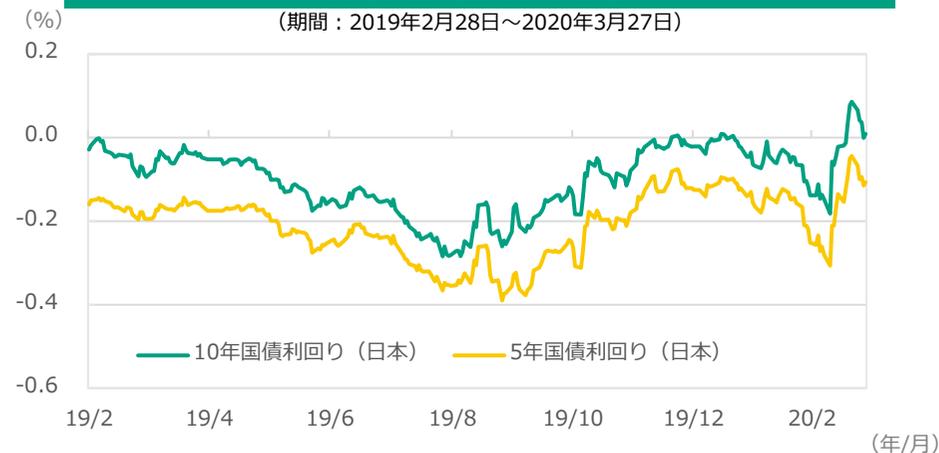
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202003_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2019年2月28日～2020年3月27日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年2月28日～2020年3月27日）



※2019年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成